

『歩育』で育む元気な心とからだ

名和さくらの丘保育園

名和さくらの丘保育園では、開園当初から「元気な体・人とかかわる喜び・豊かな心・最後までやりぬく心の強さ」を育てる活動として、『歩育』に取り組んでいます。

『歩育』とは、歩いて自然や社会に触れ、五感を刺激する体験を通して、子どもたちの豊かな心や生きる力を育んでいく取り組みです。

5月の遠足では、年長児は園から庄内保育所までの往復5キロを歩きました。ただ目的地を目指して歩くだけでなく、地域の方とあいさつを交わし、身近な草花や、畑で作られている様々な野菜、田んぼの様子を観察しながらの遠足でした。

また、『歩育』の取り組みを保護者の方にも体験してもらおうと、3歳以上児の参観日では、いつもの散歩コースを保護者の方と一緒に草花遊びや、草花見つけをしながらか歩きました。「普段、子どもはこんなに歩いているんですね」「草花遊びが懐かしかった」



～年長組参観日～
アジサイの陰にカタツムリはいないかな？

た「子どもの方が草花に詳しくてびっくりした」などの感想が聞かれました。

戸外歩きは、子どもたちの興味・関心に働きかけ、いろいろな気付きを与えてくれます。自然や人と触れ合うことの楽しさ・心地よさを感じる体験を通して、元気な心とからだを育みながら、子どもたちの健やかな成長を支えています。

子どもも大人も本気の熱戦！

第1回 大山×高麗ドッジビー頂上決戦

6月13日に大山農業者トレーニングセンターでドッジビー交流大会を行いました。

ここ数年、高齢化・スポーツ人口の減少により一部のスポーツ大会が開けない状況があり、年齢・性別・経験を問わず、楽しめる新スポーツを取り入れ、大山分館・高麗分館・まちづくり大山・ふれあいの郷から山・(株)チュウブの共催で、第1回交流大会を行いました。

大山地区から予選大会を勝ち抜いた2チームと、高麗地区から選抜した2チームが出場し、4チームのトーナメント戦を行いました。



『さあ反撃だ！』



▲『優勝した大山イーグルスサポーターズの皆さん』

どの試合も子どもと大人が協力しながら、白熱する試合が繰り広げられ、好プレーも飛び出し、笑顔溢れる大会となりました。大会の結果は次のとおりです。

- 〈優勝〉 大山イーグルスサポーターズ
- 〈準優勝〉 チームスキーマー
- 〈第3位〉 トリプルファイヤー
- 〈第4位〉 アラタファイヤー